

わる気と感動

学校だより 5号

平成30年

5月11日(金)

＝ 一年生 ふるさと探訪 ＝

4月17日、2,3年生が山梨県学力把握テスト、全国学力状況調査を受けているときに、1年生は「ふるさと探訪」として南部町の文化財や史跡・文化施設を巡りました。午前中は南部地区に住んでいる生徒が富沢地区を、富沢地区に住んでいる生徒が、南部地区を巡りました。富沢地区をナビゲートしてくださったのは、南部町文化財審議委員の佐野正剛氏でした。スクールバス2台で、最恩寺仏殿・金山神社のイチョウ・顕本寺のオハツキイチョウ・万沢口留番所跡・万沢宿と万沢氏について学びました。最恩寺では、特別に仏殿の中を見せていただいたり、顕本寺のオハツキイチョウの見学においては、貴重な双生のオハツキイチョウの実を見せていただいたりしました。

南部地区をナビゲートしてくださったのは、芦澤和彦教育長でした。出発前に1時間ほどランチルームでパワーポイントを使って説明をしていただいたあと、諏訪神社・浄光寺・蒙軒学舎跡・妙浄寺・新羅神社・富士川舟運について教えていただきました。

昼食をアルカディアの公園で食べた後、アルカディア文化館にて、近藤浩一路記念南部美術館を見学しました。学芸員の若林由美子氏と前田幸子先生からの説明を聞きました。水墨画について事前に指導していただいた望月勅雄先生にも駆けつけていただきました。多くの方々のご協力によって無事にこの行事を成功させることができました。この学習を実りあるものにするために、一人一枚、印象に残った場所についての学習のまとめのレポートを作成中です。 文責1学年主任 井上 公彦

＝ 二年生 校外学習 ＝

甲府市・山梨市・北杜市を、班ごとに自主見学する県内めぐり。一日目の自主見学は、曇り空ではありましたが雨に降られることもなく、班ごとにコースを回りました。道に迷ったり、バスの停留所がわからなかったり、駅の反対側ホームで待っていて電車に乗り遅れたりした班があり、次の見学場所に行けず悔しい思いをした生徒もいます。かわいい動物に触れ合ったり、お戒壇めぐりで鍵に触れることができななかったり、大吉のおみくじを引いて喜んだり……。計画通りに回れない班もありましたが、修学旅行自主見学に向けてのよい経験となりました。計画に基づき自分たちの足で歩くことにより、自主性を身につけられ、ふるさと山梨を実感し、自己の見聞や視野を広めるという目的をある程度達成できた一日となりました。

二日目は、酪農体験。土砂降りの中、朝5時起床で、放牧、搾乳、牛舎小屋見学、牛舎小屋清掃、集牧、給餌を黙々と行いました。牛の大きさに驚き、最初は触れることができなかった生徒たちも徐々に積極的になり、それぞれの牛の表情の違いに気づいたり牛の暖かさを実感したりすることができました。牛舎小屋掃除も、誰一人、手を抜かず懸命に作業していました。そんな姿を見て、生徒たちの成長を感じました。酪農体験学習をとおして、食や命の大切さを理解するとともに豊かな心を育むことができたと思います。

初めての宿泊学習。公益財団法人キープ協会自然学校に宿泊しましたが、宿舎での生活はおおむね良好でした。二学年集団の団結力と集団意識を高め、仲間づくり、思い出づくりの絶好の機会となりました。体調不良で2名欠席。早朝酪農体験時に体調を崩す生徒が4名いましたが、すぐに回復し、酪農体験に全て参加することができました。二日間の校外学習で学び得たことを今後に生かし、特に、時間や規律を守り、自分の役割と責任を果たすことで、協調性をもって行動する意識を高めていきたいと思います。

酪農体験を終える頃にはすっかり雨も上がり、晴天となりました。最後に立ち寄ったファームショップで、おいしいソフトクリームをいただき、クラスや学年のみんなと記念写真を撮り、大自然を大いに満喫した二日間でした。 文責2学年主任 渡邊かおる